

平成23年度 社会教育委員定例会会議録

日 時：平成23年9月29日(木)

19:32～21:08

場 所：あわらし役所 2階204会議室

(会議日程)

- 1 開 会
- 2 教育長あいさつ
- 3 委員長あいさつ
- 4 議題
 - (1)平成23年度上半期事業報告について
 - ・文化学習課所管
 - ・スポーツ課所管
 - (2)質疑応答・意見交換
- 5 その他
 - (1)あわらし小中学校等の施設の利用に関する条例等の一部を改正する条例について
 - (2)福井国体について
- 6 閉 会

(出席委員)

宇都宮高栄 小林 良嗣 伊藤 清明 青柳 淳一 大宮 早苗
林 秀

(委任状提出委員)

吉田 昭博 高橋ひろみ 佐孝 修彦 永棹 厚子 林 清一郎

(欠席委員)

平尾 和男 林 邦弘 松井 幹夫 有馬 行之

(事務局出席者)

| | | | |
|----------|-------|-------------|-------|
| 教育長 | 寺井 靖高 | 文化学習課長 | 出口 誠一 |
| スポーツ課長 | 三上 進 | 埋蔵文化財センター所長 | 木下 哲夫 |
| スポーツ課長補佐 | 林 明美 | 文化学習課長補佐 | 後藤 幸子 |
| 中央公民館長補佐 | 大角 勇治 | 文化学習課主任 | 川崎 直樹 |

【 開会 】(19:32)

【 教育長あいさつ 】(19:33～19:34)

【 委員長あいさつ 】(19:34～19:35)

【 議題 】(19:36 ~ 20:52)

(1) 平成 2 3 年度上半期事業報告 (19:36 ~ 20:23)

会議資料に基づき、文化学習課所管 スポーツ課所管の順に報告

文化学習課所管 (説明者 : 出口 19:36 ~ 20:08)

資料 P.1 (19:36 ~ 19:51)

資料 P.2 (19:52 ~ 19:53)

資料 P.3 (19:54 ~ 19:55) + 社会教育施設 (劔岳公民館等) の耐震化について

資料 P.4 (19:56 ~ 20:08)

スポーツ課所管 (説明者 : 三上 20:09 ~ 20:08)

資料 P.5 (20:09 ~ 20:08)

文化学習課所管 (説明者 : 出口 20:19 ~ 20:23) ... 図書館関係

(2) 質疑応答 (20:23 ~ 20:52)

伊藤委員 資料 P. 4 中段の 2 埋蔵文化財発掘調査事業 (1) 発掘調査出土遺物整理の市内遺跡既出遺物整理業務委託内容が桑野遺跡 92 年調査出土分と 1992 年に調査出土したものとして西暦表記になっているが、なぜ西暦表記なのか？

事務局 (木下) 出土品をいつ発掘したのかを表すのに、西暦の下 2 桁を使って注記している。和暦を用いると、年号が替わる度に年度の数字が重複するため。

林 委員 資料 P. 4 中段の 1 文化財保護事業 (1) 指定文化財維持管理で吉崎御坊において枯れ松の伐倒処分を実施しているというが、現在の状況はどうなっているのか？

事務局 (木下) 平成の初めぐらいには約 180 本の松が存在したが、今現在では、約 60 ~ 70 本の松が現存するのみである。

林 委員 以前に天橋立に行った際、松の木の 5 ~ 7 本に 1 箇所の間隔で、木の根元から木の頂上までホースが設置されており、ホースに機械を接続すると薬剤が散布される仕組みになっていた。設置費用にかなりかかるかもしれないが、作業手間等考えると良い方法である。

事務局 (木下) 天橋立でそのような事業が出来るのは、国の特別名勝にも指定されていて、事業費の補助を受けているからではないかと思われる。

宇都宮委員 市長が歴史街道等に興味を示している

林 委員 吉崎のキンメイチク群について説明。

宇都宮委員 出土品の一部が非常に貴重なものであるとのことだが、展示等どのように考えているのか？

事務局 (出口) 防犯上、一般の出土品とは別に展示室を設けて展示する予定である。現在、埋蔵文化財センターの移転先として、エルディの 2 階を予定しており、政策課が中心となって検討しているところである。

青池委員 エルディが図書館や埋蔵文化財センターの移転先として計画されているとのことであるが、駐車場についてはどのように計画されているか？

事務局 (出口) 現在、エルディの南側の部分で地権者に交渉中である。ただし、その部分だけでは十分な駐車スペースを確保できないかもしれないので、現駐

車場用地を借りることも視野に入れている。

宇都宮委員 せっかく地元で発掘し出土した遺物なので、一般市民の目に触れるようにしてはどうか？

事務局（出口） 出土した遺物、文化財の保護に努めるとともに、一般の方々にも触れてもらえるようにしたい。ただ、現在エルディの利活用について検討している中で、埋蔵文化財センターの移設に伴い金津祭りの本陣飾りを一緒に展示したらどうかとの意見も出ているが、遺物と本陣飾りを一緒に展示するのは、ちょっと意味合いが違うような気がしている。

小林委員 資料 P. 2～3 をみると公民館講座がマンネリ化しているように思われるが、講座の内容については公民館職員が企画しているのか または来館者の要望を踏まえて企画されているものなのか？

事務局（大角） 公民館職員の企画による講座、来館者にアンケートを実施して開講した講座双方あります。

また、公民館としての定期講座の継続は3年を限度としており、3年を超えて継続する場合は自主講座扱いとなっており、一定期間を経過（継続講座3年、）経過すると新しい講座を開講している。

小林委員 やはり、新しい企画を考えていかないとマンネリ化は避けられないと思います。地域の公民館としての位置づけをどのように考えておりますでしょうか？

事務局（出口） 地域の公民館としての位置づけは、拠点施設として定期講座の実施や自主クラブの活動場所となっているだけでは、ダメだと考えております。今後どのように実施していくかが課題である。

宇都宮委員 地元の方々（特に村部）は公民館を中心として、地域活動が行われている。

青柳委員 今後の公民館のあり方として、公民館活動が地域を巻き込んでいくと、公民館・地域共に成長していくと思われれます。

話は変わりますが、東日本大地震の被災児童等が7日間あわら市に滞在し、「カヌーを指導していただいたり、先般開催されたあわらカップカヌーポロ大会に参加させていただいたり、いい体験をさせてもらった。」と子どもたちが言っていましたので、この場を借りてお礼を述べさせていただきます。

大宮委員 資料 P. 1 のまちづくり関連の事業で花壇コンクールを実施しているが、毎年市から花の苗をいただいて一生懸命育てているにもかかわらず、花壇の土壌によるものか気象条件によるものかうまく育たないため、花壇の花の開花状態が寂しいものとなって、出来れば花の苗を量より質を重視したものに變更して配布願えないか？

宇都宮委員 町内でどうしたら苗を枯らさずに育てられるかを検討することが、社会教育上よい事ではないでしょうか。自分の住む区でも以前何度か枯らせてしまったことがありましたが、その都度みんなでも検討しながら改善していきました。

大宮委員 えちぜん鉄道のあわら湯のまち駅前の花壇は、スプリンクラーが定時に給

水していて、きれいに花が咲いたりしているが…。

宇都宮委員 それは、市有地にある花壇で市が管理しているものではないでしょうか。

林 委員 坂井市のある地区では、花壇の土壌が砂地の場合、籾殻や藁を中に入れ、更に砂を入れて植えて成功している例がある。

宇都宮委員 市当局も、来年度以降花の苗を配布する際に、上手な育て方等を丁寧に指導していただくとよいのではないのでしょうか。

【 その他 】(20:53~21:07)

(1) 教育施設使用料の適正化について(説明者:出口 20:53~21:01)

・ 条例改正に至るまでの経緯、改正内容について説明

質疑なし

(2) 福井国体について(説明者:三上 21:01~21:07)

・ あわら市での実施予定競技(カヌースプリント競技)についての経緯、県より打診されている競技(ゴルフ競技)等説明

質疑なし

【 閉会 】(21:08)